

中

令和 8 年度（2026年度）

中学校入学試験問題

算 数

(60分)

注 意

「始め」の合図があるまでは問題を開いてはいけません。

- 1 「始め」という合図で始め、「やめ」という合図ですぐにやめなさい。
- 2 問題は 1 ページから10ページまでです。
- 3 解答を始める前に、まず、解答用紙に受験番号と氏名を記入しなさい。
受験番号は5桁です。算用数字で横書きにしなさい。
- 4 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。解答欄以外に書かれたものは採点の対象となりません。
- 5 質問や用があるときは、声を出さずに静かに手をあげなさい。
問題の内容についての質問は受け付けません。
- 6 分度器、定規、コンパス、計算機類の使用は認めません。
- 7 比で答えるときは、最も簡単な整数の比にしなさい。
- 8 分数で答えるときは、約分して最も簡単な形にしなさい。
- 9 円周率を用いるときは、3.14として計算しなさい。
- 10 角すいや円すいの体積は、「底面積×高さ÷3」で計算しなさい。

1

下の に当てはまる数や文字，記号を答えなさい。

$$(1) \quad 9 - 3 \times 2\frac{1}{7} \div \left\{ 2 - \left(2\frac{3}{7} - \frac{3}{8} \times 4 \right) \right\} = \boxed{}$$

$$(2) \quad 1.4 \div \left(2 - \boxed{} \right) - 0.8 \times \frac{3}{4} = 0.6$$

$$(3) \quad 0.23 \text{ 時間} - 7 \text{ 分 } 45 \text{ 秒} \text{ は } \boxed{} \text{ 秒である。}$$

(4) 下の式が成り立つように，①～③に $+$ ， $-$ ， $\times$ ， $\div$ のうち適する記号を入れなさい。

$$1 \boxed{\text{①}} 234 \boxed{\text{②}} 5 - 67 \boxed{\text{③}} 8 \times 9 = 100$$

(5) 家からある場所までの道のりを，行きは時速 40 km，帰りは時速 60 km で進んだ。往復の平均の速さは時速 km である。

(6) ある学校の調査では，国語と算数の両方が得意な生徒は 68 人で，全体の 25% だった。どちらも得意でない生徒は 51 人，国語だけ得意な生徒と算数だけ得意な生徒の人数の比は 5 : 4 であるとき，算数だけ得意な生徒の人数は 人である。

- (7) 1 個の値段が 120 円, 160 円, 250 円の 3 種類のパンを合計 36 個買った。このとき, 120 円のパンと 160 円のパンの買った個数は同じで, 代金の合計は 6140 円だった。250 円のパンは 個買った。

- (8) A, B, C, D, E, F の 6 人が 50 m 走の記録についてそれぞれ下のように話した。この 6 人の話した内容の中で, 1 人だけまちがった内容を話していて, A と E の話した内容は正しいことが分かっている。

- A 「記録の早い順で E の次だったけど, 一番遅くはなかったよ」
- B 「6 人の中で, 遅い方から 2 番目か 3 番目だったよ」
- C 「F よりも遅かったよ」
- D 「6 人の中で一番早いか遅いかだったよ」
- E 「B よりも遅かったよ」
- F 「6 人の中で, 早い方から 2 番目だったよ」

6 人の 50 m 走の記録がすべて異なるとして, 間違った内容を話しているのは である。A~F の中から 1 つ選びなさい。

- (9) A, B, C, D の 4 人がいる。ある仕事をするのに
- ・ A だけで行くとちょうど 60 日で終わる。
 - ・ A と B の 2 人で行くとちょうど 24 日で終わる。
 - ・ A と B と C の 3 人で行くとちょうど 16 日で終わる。

この仕事を

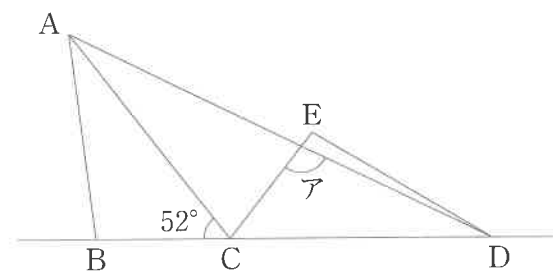
- 1 日目: A と B の 2 人で行う。
- 2 日目: B と C の 2 人で行う。
- 3 日目: C と D の 2 人で行う。
- 4 日目: D と A の 2 人で行う。
- 5 日目: A と B の 2 人で行う。

⋮ ⋮

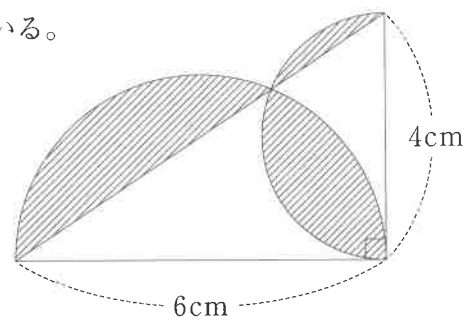
のようくり返して行っていくとちょうど 20 日で終わった。この仕事を D だけで行くと 日目の途中で終わる。

- (10) 1時20分のときの長針と短針がつくる角度と、1時 分 $\frac{\text{②}}{11}$ 秒のときの長針と短針がつくる角度は等しい。

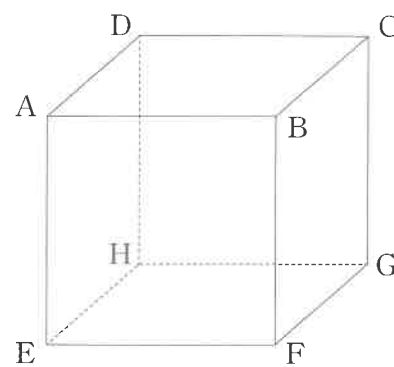
- (11) 下の図のように、直線 BD 上に2つの合同な三角形 ABC と三角形 DEC がある。
角アの大きさは °である。



- (12) 右の図のように、直角三角形と2つの半円が重なっている。
斜線部分の面積は cm^2 である。



- (13) 右の図のような、1辺の長さが6 cm の立方体がある。
この立方体を3点A, C, Fを通る平面と、3点B, D, E
を通る平面で切断したとき、点Gをふくむ立体の体積は
 cm^3 である。



下の文章は、ある日の授業内で先生と A さん、B さんが関税について会話をしている様子である。次の問いに答えなさい。

先生：みなさん、関税という言葉聞いたことはありますか？

A さん：ニュースや新聞で見たことがあります。海外からモノを輸入するときにかかる税金のことですね。

B さん：私も聞いたことがあります。

先生：関税は、自国の産業を守ったり税収が増加したりするなどのメリットがある反面、消費者が高い価格でモノを購入しなければならないなどのデメリットもあるんですよ。

A さん：そうなんですね。ところで、関税って実際どのように計算されているのでしょうか。関税の計算方法について教えてもらえませんか？

先生：わかりました。関税の計算について考えてみましょう。今回は、日本の販売店が W 国から、商品代金が日本円で 1 台あたり 25000 円の精密機械を輸入することを考えてみましょう。関税は、この商品代金にだけではなくて、この商品の輸送費や保険料などの諸費用にもかかります。今回は、諸費用は輸送費と保険料のみを考えるととし、この諸費用も日本の販売店が負担するものとします。諸費用が 3000 円で、25% の関税がかけられたとき、関税はいくらになるでしょう。

B さん：関税は商品代金の 25000 円に諸費用の 3000 円を加えた 28000 円の 25% ということでしょうか。

先生：そうですね。実際に計算してみると、関税はいくらになるかな。

B さん： 円です！

先生：そうですね。次に、販売店で商品代金、諸費用、関税 円の合計額に利益を加えた販売価格を設定し、消費者に販売することを考えます。1 台あたり 15000 円の利益を得たい場合、販売価格はいくらになりますか。ただし、今回は、消費税については考えないことにしましょう。

B さん：販売価格は 円になります。

先生：そのとおりです。よくできました。

A さん：先生、もし関税が安くなれば、販売店が得られる利益は増えるのではないですか？

先生：良いところに気が付きましたね。販売価格が 円のままであれば、利益が増えそうですね。そういえば、最近、この精密機械の関税が 25% から 15% に引き下げられたようですよ。

A さん：そうなんですね！そうになると、販売数が予定していた数より少なくなっても元と同じくらいの利益が得られそうですね。

(1)

ア

 ,

イ

 に入る数を答えなさい。

(2) 文中の下線部について、関税が 25% から 15% に引き下げられたとき、

① 1 台あたりの利益はいくらになるか求めなさい。

② 販売店の利益が、1500 万円以上になるためには、少なくとも何台の精密機械を売ればよいか求めなさい。

3

各位の数の和が 10 である整数を 19 から 2026 まで並べた数の列がある。

19, 28, 37, …… , 2017, 2026

次の問いに答えなさい。

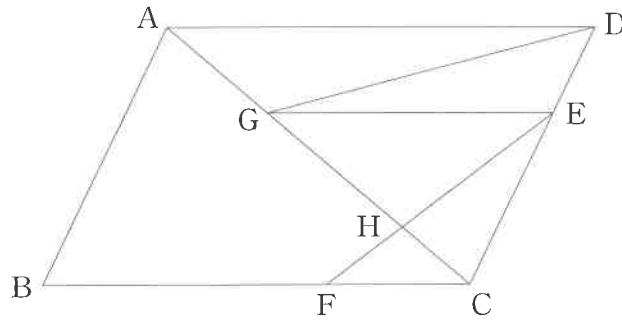
- (1) この数の列の中に、3 けたの整数は何個あるか求めなさい。
- (2) この数の列の中に、全部で何個の整数が並んでいるか求めなさい。
- (3) 1234 はこの数の列の中で、始めから数えて何番目か求めなさい。
- (4) この数の列の中に、5 の倍数は何個あるか求めなさい。

(問題は次ページに続く)

4

下の図のような，平行四辺形 $ABCD$ の辺上に $DE:EC = 1:2$ ， $BF:FC = 3:1$ となるような点 E ， F がある。点 E を通り辺 AD に平行な線をひき，対角線 AC と交わった点を G ， AC と EF の交わった点を H とする。次の問いに答えなさい。

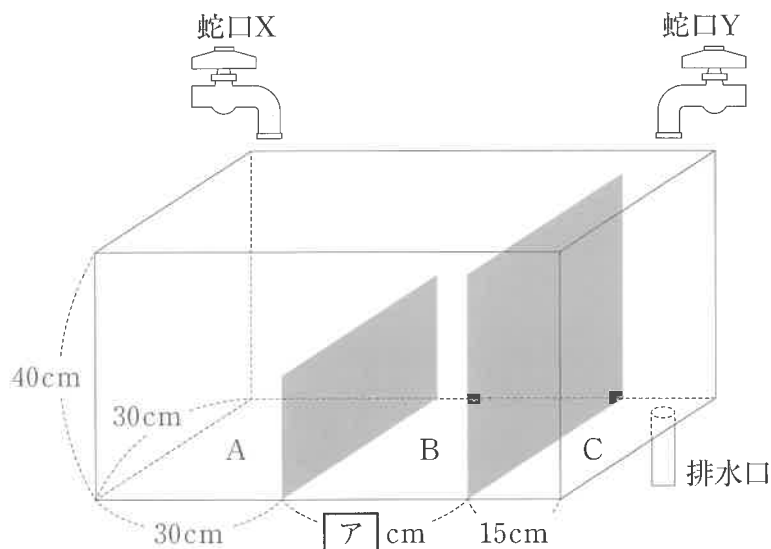
- (1) $AD:GE$ を求めなさい。
- (2) $GH:HC$ を求めなさい。
- (3) 三角形 HCE と三角形 ADG の面積の比を求めなさい。



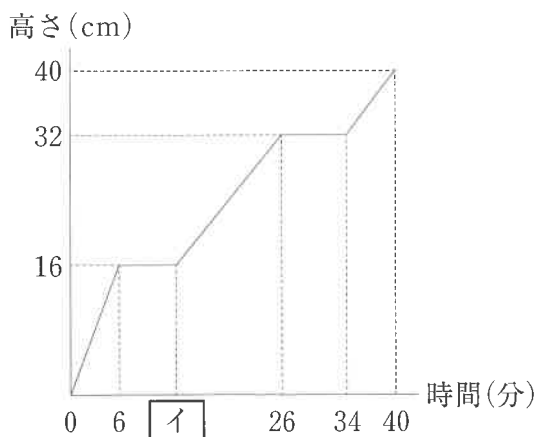
5

【図1】のような、奥行きが30 cm、高さが40 cmの直方体の水そうがある。水そうの中には側面に平行で、底面に垂直な仕切りが2つあり、底面がAの部分、Bの部分、Cの部分に分けられている。この水そうに蛇口Xを使ってAの部分に毎分一定の量の水を入れ始め、さらに蛇口Xから水を入れ始めてから34分後に、蛇口Yを使ってCの部分に毎分一定の量の水を入れ始めた。【図2】のグラフは、蛇口Xから水を入れ始めてからの時間とAの部分の水面の高さの関係を表したグラフである。次の問いに答えなさい。ただし、排水口はつねに開いているものとし、仕切りの厚さは考えないものとする。

- (1) 蛇口Xから入る水の量は毎分何 cm^3 か求めなさい。
- (2) 【図1】の ア と【図2】の イ にあてはまる数を求めなさい。
- (3) 排水口から出る水の量は毎分何 cm^3 か求めなさい。
- (4) 蛇口Yから入る水の量は毎分何 cm^3 か求めなさい。



【図1】



【図2】

受 験 番 号			
氏		名	

中学校 算数 (60分)

1

(1)					(2)					(3)				
(4)	①			②			③			(5)				
(6)					(7)					(8)				
(9)					(10)	①			②					
(11)					(12)					(13)				

2

(1)	ア			イ		
(2)	①	円		②	台	

3

(1)	個		(2)	個	
(3)	番目		(4)	個	

4

(1)	:	(2)	:	(3)	:
-----	---	-----	---	-----	---

5

(1)	毎分	cm ³	(2)	ア		イ	
(3)	毎分	cm ³	(4)	毎分	cm ³		